

年 度 評 価 シ ー ト （令和6年度）

課名 観光政策課

施設の名称 清水港船宿記念館	指定管理者名 公益財団法人するが企画観光局
1 履行状況	
(1) 目標達成 ア 利用者満足度 目標値 80.0%、実績値 93.0%（前年度 88.8%） 達成率 116.2% 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 92.9%、達成率 116.1% イ 利用者数 目標値 17,000 人、実績値 14,448 人（前年度 7,739 人） 達成率 84.9% 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 15,498 人、達成率 119.2% (2) 人員配置状況 パート 5 人 (3) 業務実施状況 静岡市清水港船宿記念館条例第3条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。 ア 主催事業 (ア) 清水の新茶を楽しむ（4/30～6/1、参加者11人） (イ) 「清水の次郎長展」開催（入江生涯学習交流館：6/1～30、小島生涯学習交流館：9/10～29、由比生涯学習交流館：12/2～14） (ウ) 次郎長命日限定イベント（ゆび饅頭プレゼント）（6/12） (エ) 次郎長映画を楽しむ（1回目7/27参加者17人、2回目11/9参加者14名） (オ) 末廣夏祭り（8/3～4） (カ) プラモ体験会（9/28、参加者8人） (キ) 次郎長巷談（1回目10/5参加者16人、2回目3/19参加者24名） (ク) 次郎長の夢・次郎長浮世絵スタンプラリー開催 （1回目10/14、2回目11/3、3回目、11/5） (ケ) 己書体験教室（10/19、参加者9人） (コ) 着物体験Day（1回目10/22参加者21人、2回目3/7参加者10人） (サ) 干支の置物作り（1回目12/4参加者9人、2回目12/7参加者5人） (シ) 富士山の日イベント2025（2/22～23） (ス) 次郎長ウォーキングの開催（2/26、参加者31名）	

イ 展示事業

(ア) つるし飾り展 (通年)

清水次郎長と28人衆、市内の祭り、清水エスパルス等をテーマにした飾り

(イ) 鯉・端午の節句飾りとつるし飾り展示 (4/3～5/19)

(ウ) 七夕笹飾り展示 (6/29～7/7)

(エ) 「おちょうさんからの手紙展」 (9/1～29)

(オ) ひな飾りとつるし飾り展示 (1/15～3/30)

【検証・分析】

(1) 施設入館者数

昨年度の入館者数は、外壁工事(9月)、内部改修工事(12月～2月)の影響で大幅に入館者数が減少していたため昨年度比では大幅増となった。

4・12・3月に大規模なウォーキングイベントがあったことや、客船寄港(寄港時の臨時開館)などが入館者数増の大きな要因となっている。

また、「次郎長映画を楽しむ」や「次郎長巷談」「次郎長ウォーキング」などの企画・体験教室では多くの申込があり、参加者からも大変好評であった。

イベント参加者のアンケートでは、静岡市広報紙「静岡気分」を見て申し込む方が圧倒的に多いため、今後も広報紙を活用して情報発信を期待したい。また、来館者の約7割が50代以上であるため、若者世代の興味を引く企画展やイベントの考案、SNSなどでの情報発信も期待したい。

(2) 事業実施状況

展示及び各種関連事業については、事業計画書に従って適正に実施されていた。

「鯉・端午の節句飾り展」や「ひな飾りやつるし飾り展」などの展示企画や、「次郎長映画を楽しむ」や「次郎長巷談」など体験教室は大変好評であり、創意工夫して誘客を図る様子が見られた。

また、スタッフによるSNSの継続的な情報発信、インバウンド客に向けた館内の多言語表示や英語による説明にも積極的に取り組み、情緒ある館内と、日本の伝統的な建物を魅力的に伝える試みがなされていた。特にインバウンド客については、次郎長の「なりきりセット」を装い、人形と共に写真を撮ることや、志美津きものボランティアの会協力の「着物体験」、座敷での抹茶を嗜むなど、日本ならではの伝統的な建築と文化について感じることの施設として大変好評であった。

【確認結果】

○：業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

(1) 意見：英語表記の説明文等を作成してほしい。

対応：展示説明文や商品ポップを作成した。

(2) 意見：トイレの案内表示を作成してほしい。

対応：英語表記のトイレ案内表示を作成、設置した。

(3) その他

- ・次郎長の生涯がよくわかりました。
- ・展示やスタッフの対応が良かった。
- ・建物、つるし飾りが素晴らしい。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

- ① 「建築・設備」満足度：97.0%（前年度 87.8%）
- ② 「案内」満足度：90.7%（前年度 93.6%）
- ③ 「展示内容」満足度：92.4%（前年度 85.1%）

【検証・分析等】

3項目の平均値で算出した満足度は93.4%（前年度 88.8%）であり、目標値である満足度 80.0%を大きく超えたことは高く評価できる。すべての項目が高い水準であり、良好な評価を得ている

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

当施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設5施設（東海道広重美術館、由比本陣施設、清水港船宿記念館、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。

※自施設については未実施

【調査結果】

回答者総数：3,107件、当該施設を知っていると回答した人数：465人

認知度：15.0%（前年度 19.9%）

引き続き認知度向上が大きな課題である。近隣地域における認知度向上、次郎長の功績の発信、日本家屋の建築物としての魅力発信、校外学習の場として活用など、PRの強化だけでなく、その方法の工夫にも期待したい。

【確認結果】

△：調査の結果にやや問題があった。

4 指定管理者の経理状況の評価	
指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおり執行されている。	
【検証・分析等】	
指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。	
【確認結果】	
○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。	
5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
【検証・分析等】	
本施設は「清水港周辺地区の地域振興及び観光交流の場」であるとともに、「清水の次郎長所縁の施設として地域の歴史文化を発信する場」と位置付けられており、日の出地区における観光や歴史の重要な発信拠点である。	
今後、国内・インバウンド客のさらなる集客に向けた取組を工夫する必要がある。特に、来館者アンケートからみえるリピーターの割合の少なさは課題の一つとして認識する必要がある、市内近隣からの再訪客の取り込みも大きな課題となる（令和6年度来館者アンケートによると、回答者の84.3%が初回来場者）。	
また、若い世代に歴史的に価値のある地域資源を再認識する機会として学校の校外学習利用に繋がる営業活動を進めおり、地域での認知度向上につながることを期待したい。	
次郎長生家や梅蔭禅寺といった次郎長関連施設との連携はもちろんのこと、指定管理者自身が地域ブランドの価値向上をはじめとする観光振興を担う団体であることを鑑み、観光や歴史の発信拠点として、本施設の機能を高めるための取組をより一層推進することを期待する。	
【評価結果】	
○：良好な管理運営であった。	

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。